

歩いて・観て・発見するノートマガジン

ある国 記立

KUNITACHI・ARUKI

2016/spring
vol. 34



[特集] 大学まちはカフェが好き
一杯の文化を探しに時間旅行へ。

「行きつけの店」山口瞳（新潮文庫刊）

Sekiya Spring Collection

陽気に誘われ、ほろ酔い気分。

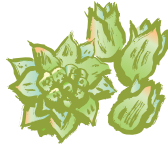
あつたか、うららかな春到来。せきやはこの季節にぴったりなお酒をご用意しました。
お花見て、ご自宅で、のんびりお楽しみください。



神奈川を代表する
酒蔵の一本。
凛とした味わいが
魅力の辛口は、
金目鯛や
ハマグリなど、
旬の魚介とどうぞ。



軽快な飲み口が嬉しい、
スパークリング
日本酒。
レモンやライムを加え、
シャンパングラスで
飲むのもおすすめです。



コス、パ抜群の
デイリーワインです。
その新鮮な柑橘類の
風味は、
ふきのとうの
天ぷらなど
春の和食とも好相性。



優しい甘さが魅力の
国産ロゼ。
カレールイスから
フルーツまで、
どんなお料理とも
調和する懐の深さを
お楽しみあれ。



【神奈川】神力 いずみ橋
山廃純米酒
720ml / 1,750円



【山形】出羽桜
咲
250ml / 500円



【イタリア】フォッシン・コロノ
チーマ・ローザ
750ml / 1,950円



【栃木】ココ・ファーム・
ワイナリー ころこぜ
375ml / 1,080円

周年感謝セール この春、せきやは106周年!

一世紀分の感謝を込めて、特別価格でご奉仕など、さまざまなサービスを実施いたします。

※詳しくは店頭またはお電話にてお問い合わせください



春の大試飲会 2016年3月27日(日)

ワイン・日本酒・焼酎など、150銘柄以上のお酒をご用意しました。お得な限定前売券も好評発売中です!

【時間】 1部 12:00-14:00 (13:30 受付終了)
2部 15:00-17:00 (16:30 受付終了)

【会場】 7F エソラホール

【入場券】 前売券 2,000円 (各部 80枚限定)
当日券 3,000円

※完全入替制 ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

Cest à Vie
SAKE-BOUTIQUE
SEKIYA
Depuis 1910 おかげさまで106周年



国市市中 1-9-30 せきやビル B1/F
☎ 042-571-0001
[1F] 11:00-22:00 (金土 23:00)
[B1F] 11:00-20:00 (金土 21:00)

地元野菜で作る「春ベジスイーツ」



国立市「城山さとのいえ」山縣とも子さん

右上：城山さとのいえで収穫したほうれん草 左上・右下：桜の塩漬けを添えた
桜餅とクッキー 左下：くにたち産ほうれん草を使ったケーキ

谷保の里山に、くにたちの農の学習施設として「城山さとのいえ」が建てられたのは2015年春のこと。これまで野菜の収穫や料理教室など四季折々の体験講座を市民向けに展開してきた。スタツフの山縣^{やまがた}ともさんは、東京農業大学で学び、その知見を生かして「自分で収穫した農作物を使った調理体験」なども企画している。「春ですと谷保のよもぎを摘んできて谷保産白玉粉に混ぜれば、簡単よもぎ団子のできあがり」。桜の味わい方もひと工夫。山桜のつぼみをやわらかいうちに採集して一週間塩漬けして干してから冷凍庫へ。翌年も鮮やかな桜色そのままに、クッキーや桜餅に彩りを添える。講座に使う旬の野菜は、もちろん農家の直売所から。素材の味を生かすレシピだからこそ、地場の一番食べ頃の野菜に惹かれるという。旬を包むベジスイーツが気分も春色にしてくれそうだ。



【青空市】国立市特産物即売協議会
くにたち北市民プラザ駐車場にて
[OPEN] 毎週水曜 13:30～
3月20日(日)に城山さとのいえ
1周年イベントにも出店。



【城山さとのいえ】
国立市泉 5-21-20
☎ 042-505-5190
[OPEN] 9:00～17:00
[休館日] 第2・4木曜日、年末年始

ワークショップや青空市、農の情報は「くにたちあぐりッポ」サイトで発信中。
<http://kunitachi-agri.jp/>

くにたちの歴史と 珈琲店の移り変わり

- ・1181(養和元)谷保天満宮遷座。
 - ・1347(貞和3)南養寺開山。
 - ・1834~36(天保初期)刊行の「江戸名所図会」に①清水の茶屋営業の記録。
 - ・1893(明治26)北多摩郡谷保村、東京都に編入。
 - ・1910(明治43)甲州街道沿いでせきや創業。
 - ・1914~18(大正3~7)第一次世界大戦。
 - ・1923(大正12)関東大震災。
 - ・1924(大正13)箱根土地株による学園都市開発開始。
 - ・1926(大正15)国立駅開業、東京高等音楽学院(のちの国立音楽大学)開校。
 - ・1927(昭和2)東京商科大学(現一橋大学)専門部、神田一ツ橋より移転/兼松講堂落成。
 - ・1928(昭和3)滝乃川学園が豊島区より移転。②多からや開業。
 - ・1929(昭和4)南武鉄道谷保停車場開業。
 - ・1931(昭和6)頃、喫茶店ブルベル、富士喫茶店、③エビキュールも同時期開業。
 - ・1932(昭和7)南武鉄道矢川停留所開業。
 - ・1934(昭和9)大学通りに桜を植樹。
 - ・1939~45(昭和14~20)第二次世界大戦。
 - ・1949(昭和24)国立会新聞創刊。
 - ・1951(昭和26)谷保村が国立町となる。
 - ・1952(昭和27)国立町が文教地区指定に。
 - ・1954(昭和29)④ロージナ茶房開業。
 - ・1955(昭和30)⑤白十字 ⑥邪宗門 ⑦ジュピター開業。
 - ・1957(昭和32)公民館設立。
 - ・1961(昭和36)東京女子体育短期大学、吉祥寺より移転。
 - ・1965(昭和40)富士見台団地2251戸完成。
 - ・1967(昭和42)国立町、国立市となる。市制施行。さくら通り完成。
 - ・1972(昭和47)創形美術学校設立(00年に池袋へ移転)。この頃からファミリーレストラン等のチェーン店が続々開店。
 - ・1977(昭和52)⑧カフェひょうたん島開業。
 - ・1978(昭和53)国立音楽大学、立川市に移転。
 - ・1981(昭和56)⑨喫茶わいがや ⑩書簡集開業。
- 90年代後半からはセルフサービスのチェーン店が進出した一方で、2000年代になると、自宅や古民家を改装した自然志向のカフェや自家焙煎の豆を提供するショップなど、個性的な新しい店が開店。国立のカフェ文化を育てている。
- ・2003(平成15)⑪ここたの開業。
 - ・2006(平成18)旧三角屋根駅舎供用終了、解体(現在、再建に向け、2020年初めの完成を目指した計画が進行中)。

この特集は「まちの喫茶店」(くにたち郷土文化館発行/400円)を参考に作成しました。ご紹介した喫茶店はほんの一部。この冊子は、くにたち郷土文化館、増田書店にて販売。より詳しく知りたいかたにおすすめの一冊です。

【写真協力】扉、③⑥⑦:くにたち郷土文化館/①:東京都立中央図書館特別文庫室所蔵「江戸名所図会」・3巻「清水立場」/②:志田そは

① 清水の茶屋 (谷保5827)
国立カフェ第1号?甲州街道を旅する人のオアシスだった。

② 多からや(寶屋) (東1-6-28※現「志田そば」) 昭和初期は、モダンな西洋建築の人気カフェ。



③ エビキュール (国立駅南口 閉店)
昭和初期から戦後、学生達の交流を支えた伝説的カフェ。(くにたち郷土文化館発行「まちの喫茶店」表紙より)



④ ロージナ茶房 (中1-9-42)
山口隴、池田満寿夫ゆかりの店。壁の絵画はお宝だらけ。



⑤ 白十字 (中1-9-43)
音楽家のサロンコンサートの場。スイーツは国立土産の定番。



⑥ 邪宗門 (中1-9-30 閉店)
門主を慕う人の輪が、全国に「邪宗門」を開店した。



⑦ ジュピター (中1-19-1 閉店)
国立音大の学生が通った名曲喫茶。もちろん私語厳禁。



⑧ カフェひょうたん島 (富士見台1-4-4)
NHK「ひょっこりひょうたん島」スタッフの手作りカフェ。



⑨ 喫茶わいがや (中1-15-1公民館内)
若者達がしょうがいしゃとともに公民館と連携して運営する喫茶店。



⑩ 珈琲 書簡集 (中2-3-7)
自家焙煎の豆を注文後に挽きネルドリップで淹れてくれる。カレーも格別。



⑪ Cafeここたの (富士見台1-7-1-1-104) ウッディで洒落た団地内カフェは、学生と市民が経営する。



1955年当時の「エビキュール」(上)
木造だが洒落た外観だった様子がかがえる。現在の国立駅南口、三井住友銀行とエクセルシオールが建つ辺りにあった(下)。まだ「たましん」のビルがなく、奥に「ロージナ」の看板が見える。今よりも駅前の空気が広がった。



※ディレタント=英(仏)Dilettante(芸術や学問を趣味とする)。
江津匡士(ごうづ ただし)：図案家、「国立本店」メンバーとして「国立大学町」を中心とした地域研究と発表する場作りに取り組んでいる。国立本店のウェブサイトでは国立の喫茶店案内「喫茶クニタチ」の連載が始まった。

大学まちは 一杯の文化を探しに カフェが好き

一杯の文化を探しに 時間旅行へ

国立には個性的なカフェが多い。理由を知りたくて道に迷っていたら、90年前まで旅をしていた。国立の黎明期に詳しい江津匡士さんに、大学まちのカフェの変遷を聞いた。

立を楽しむのにかかせない場所。そこはカフェ。カルチャー・ラタンのカフェに集う人々がパリの文化を育てたように、大学まち国立の歴史もカフェとともにあった。一九二四(大正十三年)、箱根土地が谷保北側の雑木林を大学まちとして造成したことが国立の起り。

学舎と大学通り以外何もなかった当時、東京商大(現一橋大)と東京高等音楽学院(現国立音大)の学生や教授達は、駅前の「エビキュール」「多からや(寶屋)」といったカフェで議論をし、夢を語った。そこは美や知とつながるサロンであり、江津さんは、学生達が創った「居場所」と語る。

一九五〇年代には今もなじみの「ロージナ」「白十字」がオープンし、当時国立に新居を構えたジャーナリストや編集者、音楽家達が通い、独特のスタイルが築かれていく。作家山口隴さんやロックアーティスト忌野清志郎さんも通った「ロージナ」の店内が絵画でいっぱいなのは、ギャラリイとして生まれた名残とか。こうしてその時代のディレタント*が作ってきたまちの空気は、今も個性的なカフェが生まれる土壌となっている。

国立のカフェ歩きは、楽しむ「場」を見つめる宝探し。チェーン店のよく考えられたサービスを「お客様」で楽しむのも素敵だと思ふ。でもせっかくなの国立「場」作りを楽しむ一人になれば、このまちは何倍もおもしろいはず。国立のカフェの扉は、いつでも開かれている。(文井上伸夫)



春のくにたち ぶらぶらMAP

&ぶらぶら歩きに
おすすめのお店

春夏秋冬、くにたちは季節の見どころがいっぱい。そこで毎号、さまざまなくにたち通から、ぶらぶら歩きのコツを教わります。第1回目は、歴史に造詣が深く、時空を超えた視点から国立の街を読み解くのが得意なくにたち観光案内人の小泉さんのご登場です。



NPO 法人国立市観光まちづくり協会
小泉智男さん

国立は、北から国分寺崖線、立川崖線、青柳崖線と3段になっていて、国立駅周辺が「やま」、谷保の街道沿いが「村」、水脈に恵まれた崖（ハケ）下は「田畑」と使い分けられていたんです。江戸街道や鎌倉街道には曲がった「辻」がありますが、これは（庚申）塚があったり、敵の侵入を防ぐためといった徳川時代以前の生活の痕跡。当時に思いをはせながらの春のお散歩もおすすめです。

NPO 法人国立市観光まちづくり協会の観光案内人。都内のメーカーを定年退職後、かねてから慣れ親しんでいた国立に移転。趣味の寺社めぐりが高じて月1回のペースでまち歩きのを主催。

text: Inagaki Daichi / Uesugi Hisayo
illustration: Hiramatsu Miwa



C アカリベーカリー 贈
昨年の暮れ、ポッと温かい灯りが灯るようにオープンした小さなベーカリー。常時約40種類あるパンは毎日1つずついいねいに作っています。店主さんは小学生の頃アニメ映画『魔女の宅急便』を見て、パン屋さんになろうと決めたのだとか。お財布に優しいお値段も「パンは日々のもの」という信念から。ガラス越しに見える厨房はお子様にも大人気。

1. オリジナルパンもぞくぞく登場 2. ウィンナーロール 220円 3. カレーパン 180円
4. 店主の高山さん



B アルトパッショ 贈
数々の世界遺産や美しい自然景観で知られる、イタリア中西部のトスカーナ州。その食文化を国立に伝えているのが、今年5年目を迎える旭通りのリストラテです。「この地方の郷土料理は優しい味わいが特徴。だから大人の方だけではなく、お子様にも喜んで食べていただけるんですよ」とは吾妻シェフ。この春、家族で優しいイタリアンを囲んでみては。

1. 存羊のボルベットーネ1,800円 2. サルシッチャとふきのとうのクリームリゾット1,400円 3. シェフの吾妻さん

A 旅する雑貨屋 Hunt 贈
店主さん24歳の時、ご主人と9ヶ月かけて「いきあたりばったりの」世界1周旅行に。旅先で買付けた中南米、アフリカ、欧州、アジアの雑貨は、ゴムのおもちゃから美術工芸品まで! 小さいお店はそんなワクワクにあふれていて、宝探し気分でお買い物できます。トルコの繊細なレース編みモチーフOyaなど、国立ではここでしか手に入らないものもいっぱい。

1. 店長の宮城さん 2. ちょうち箸置き 490円



D レッドトップ
もし春からの新生活で一息つける場所を探しているのなら、1959年創業の「国立でいちばん入りにくいバー」がオススメ。年齢層の高い常連が多い老舗は、若い人にとって敷居が高く見えるかもしれませんが、しかし思い切って扉を開ければ、マスターの岡本さんが演出する寛ぎの時間が待っています。何度か通う内に居心地の良さを感じている自分に気付くはず。

1. マスターの岡本さん 2. モスコミュール900円



E ビアカフェ ニンカシ 贈
今年1月、谷保に樽生クラフトビールを専門に扱うビアカフェがオープン。沿線最多クラスの13タップ(注ぎ口)のビアサーバーを備え、厳選した国産中心のクラフトビールを手作りのお料理とともに生で味わえます。またワインや本格コーヒーもあるのでビールが苦手でもご安心を。ニンカシとはビールの女神の名前。きっと地域の渴きを癒やしてくれるでしょう。

1. 国立桜を使った燻製盛り合わせ 680円/スモークBANANAチップス 300円 2. 志賀高原ビールIPA 1,000円(レギュラー) 3. 店長の伊藤さん



F マルカフェキッチン 贈
パティシエで、オリジナル料理研究が趣味のタケちゃん、野菜大好きなイクミさんが、昨年11月につくった小さなカフェ。手の込んだスイーツはもちろん、「あの野菜をこんな調理法で?」と、びっくり楽しくしてくれるランチは全メニュー制覇したくなるおいし。店名に「カフェ」だけじゃなく「キッチン」がついているのも納得です。

1. 居心地のいい店内 2. ラunchは3種類 1,200円(毎月1,16日にメニュー替え) / スイーツはドリンク+500円~3. 店主の武内さん



通称「江戸街道」は、古くからの往来のあった古道。春は、住民のみならず丹精込めた花でいっぱい。庚申信仰の名残「庚申塚」を経由して、さくら通りまでぶらぶら散歩を楽しみましょう。

3 誰が呼んだか? 江戸街道。

2 小さな春をさがしに城山へ。

4月には里山に春を呼ぶニリンソウが群生します。若葉の雑木林や菜の花でいっぱいの畑と一緒に、春のパノラマを楽しみましょう。古民家では5月になると鯉のぼりがあがります。タイムトリップして昔の日本にきたような懐かしい風景が広がりますよ。



1 春はやっぱり! 大学通りの桜。



ソメイヨシノ以外にもシダレザクラ(①)やヤマザクラ(②)、ウコンザクラ(③)、イヌザクラ(④)といった、珍しい桜も。開花時期もずれるので長く楽しめます。くにたちの桜を守る「くにたち桜守」のホームページに詳しい桜マップが掲載されていますよ。

小泉さんのイチオシ!

「国立市保健センター」発行の「みんなでくにたちを歩こう 健康ウォーキングマップ」。No.7「江戸街道からさくら通りへ」花と公園を巡りながらは、春のお散歩にぴったりのコースです。市役所を始め市役所ほか公共施設で無料配布中。WEBサイトからPDFでダウンロードもできます。

春うらら 国立・立川さくらウォーキング

4月3日(日)
受付10時~11時(現地集合・事前申込不要)
Aコース 国立発~立川着コース(一橋大正門前集合)
Bコース 立川発~国立着コース(モレール柴崎体育館前公園集合)
※約1,000名の参加を予定 / 小雨決行

国立市内 半日ガイドウォーキング

くにたち観光案内人が市内約5kmを案内!
4月6日(水) / 5月12日(木) ※雨天中止
JR国立駅改札前 10時集合(現地集合・事前申込不要)

(問) 国立市観光まちづくり協会 ☎042-574-1199

一緒にぶらぶら
しませんか?



プレゼントあり! 応募方法については裏表紙をご覧ください。



国立市中1-19-1 [TEL] 042-505-6200 [OPEN] 10:30~20:00 [定休日] 月



国立市中1-9-49 [TEL] 042-575-1212 [OPEN] 18:00~24:00 [定休日] 日祝



国立市富士見台1-10-15宝ビル103 [TEL] 042-505-9777 [OPEN] 火~金17:00~24:00 土日15:00~24:00 [定休日] 月・第2火



国立市富士見台2-2-3 1F [TEL] 042-843-0729 [OPEN] 日~火・木11:00~20:00 (L.O.19:00) / 金・土11:00~22:00 (L.O.21:00) [定休日] 水

ART & MUSIC

アートイマジングギャラリー代表 吉田史崇さん

アートとともに暮らす毎日を。

吉田さんの春にお勧めCDアルバム『Carpenters Gold』

春は卒業を含め「移り変わる」イメージがあります。多感な時期に観た青春ドラマ「未成年」の主題歌や挿入歌として流れ、よく聴きました。甘酸っぱい、春の匂いを感じますね。「イエスタデイ・ワン・モア」など彼らの代表曲をほぼ網羅しています。



国立市の旭通りでアートギャラリーを営む吉田さんは、「アートってよくわからない」と思っている人にも身近に感じてもらえるよう、トーク・イベントを年4回ほど企画している。毎回1ヶ月の間、週末に開催されるこのイベントでは、美術の愛好家たちが作家にインタビューする。一般の人でも気軽に参加でき、アートの楽しみ方を作家と一緒に感じることができ。また、通常のギャラリー展示でも、気に入った作品に投票できる「公開審査」を実施。ただ鑑賞するだけでなく、観る人も参加できる仕掛けを工夫している。

text : Martha Hasegawa

アートイマジングギャラリー
国立市東 1-15-33 ヒロセビル 5F
☎ 042-595-9612
[OPEN] 12:00-19:00 (火は 16:00 まで)
[定休日] 水曜

KUNITACHI INFORMATION FILE

くにたちインフォメーションファイル

国立市の旭通りでアートギャラリーを営む吉田さんは、「アートってよくわからない」と思っている人にも身近に感じてもらえるよう、トーク・イベントを年4回ほど企画している。毎回1ヶ月の間、週末に開催されるこのイベントでは、美術の愛好家たちが作家にインタビューする。一般の人でも気軽に参加でき、アートの楽しみ方を作家と一緒に感じることができ。また、通常のギャラリー展示でも、気に入った作品に投票できる「公開審査」を実施。ただ鑑賞するだけでなく、観る人も参加できる仕掛けを工夫している。



右：ギャラリートークの風景。左：飾る絵の高さを意識して、女性の目線に合う145cmくらいに。作品と対話しやすいようにしています(吉田さん)



CURTURE & BOOKS

増田書店 店長のとっておきの一冊

コーヒーのある時間に読みたいくなる本



『なりたい わたし』心を軽くするユーモアで「わたし」を見つめなおす作品集。和田まさこ著／フィリップ・ジョルダンノ装画(思潮社 ¥2,200)

2年前のある静かな雪の日の喫茶店で、詩人の卵らしき男女がコーヒーを飲みながら何時間も語り続けていた……増田書店店長・篠田さんにとって忘れられないという光景から、国立の詩人・和田まさこ氏が書いた一冊を選んでくれた。日常的に詩に馴染みがない人でも、喧嘩から逃れた喫茶店でほっと一息ついて、気まぐれにページを繰れば、一編の詩を読み終えるまでのわずかな時間、著者の描く営みと呼吸のあるまちの風景に心地よく引き込まれてしまう。「馴染みがなかった世界に触れると、新しい視点や想像力が広がる体験がある。書店の本棚からそんなきつかけが生まれたら」と篠田さんは話す。

text : Yu Kato (国立本店)

国立最後の銭湯「鳩の湯」

リニューアルイベント

日時：4/16(土)・17(日) 10時～18時
場所：鳩の湯(国立市東2-8)
『国立本店』発足『ポッププロジェクト』が、国立最後の銭湯「鳩の湯」のリニューアル応援イベントを開催。国立在住の銭湯絵師、丸山清人さんによるペンキ絵のライブペインティング(両日16時まで)を中心に、足湯や古本市など各種イベントも。



国立本店
国立市中 1-7-62
☎ 042-575-9428
[OPEN] 13:00-18:00
[定休] 月・木

増田書店
国立市中 1-9-1 ☎ 042-572-0262
[OPEN] 平日 9:00-20:00
日祝 10:00-20:00
[定休] 元旦



増田書店
南口店 店長
篠田宏昭さん



国立の学校のはじまり、潤沢学舎



右：谷保小学校卒業証書
左：開校当時は机が無かったため生徒は自分の座卓を背負って登校。70×30センチほどの大きさで杉材のせいが見た目よりは軽い。(くになち郷土文化館所蔵)

国立市の前身、谷保村には旧幕府時代から南養寺の寺子屋など私塾が五つほどあり、勉学への門戸は開放されていた。学制が敷かれた明治六年には、杉田吉左衛門が自邸の蚕室を借りて開いた「潤沢学舎」が誕生。のちの市立第一小学校である。
それにしてもなぜ、「潤沢」？そこには戸長(村長)だった本田家十三代目当主・定年の思いがこめられていた。
開校当時、『潤沢校名詞に題す』という詩で、「請う見よ、君恩潤沢多し、宛然として時雨、春耕に及ぶ」と謳っている。「教えを請けることは、まるで雨が春の畑を潤すようだ」というような意味だろうか。自由民権運動にも熱心で、潤沢学舎のことを「スクール」と呼ぶほどのリベラルな人物が教育の中心にいた国立。その志は今も受け継がれているのかもしれない。

text : Uesugi Hisayo

潤沢学舎年表

明治 6年 (1873)	9月	杉田吉左衛門宅内に潤沢学舎開校 (学童30名ほど)
9年	9月	谷保小学校 (通称：やぼがっこ) と改称 (学童100人)
19年	10月	谷保尋常小学校
25年	4月	谷保尋常高等小学校
昭和 18年 (1943)	11月	谷保国民学校
22年	4月	谷保小学校
26年	2月	国立市立国立第一小学校と改称
平成 25年 (2013)		第一小学校 140周年記念式典



【参考文献】『谷保 国立市立国立第一小学校創立百周年記念誌』国立第一小学校創立百周年記念協賛会 (1974年4月15日発行)『国立市地域史料叢書第14集 本田定年日記』くになち中央図書館 (1991年3月31日発行)『くになちの歴史』国立市 (1995年2月20日発行)

第29回

くになち兼松講堂 音楽の森コンサート

ベートーヴェン生誕250年(2020)プロジェクト Vol.5
～ピアノ・ソナタ シリーズ (I)～

小菅 優の“ベートーヴェン詣”

知性と高い音楽性で、内外から最も注目されている若手実力派ピアニスト、小菅優。05年カーネギー・ホール、06年ザルツブルク音楽祭でリサイタル・デビュー。ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全32曲のCD録音と全曲演奏会を終えた今、新たな「ベートーヴェン詣」への旅立ち……。世界的な国際音楽コンクールを制覇した3人の仲間たち……。4人のミュージアムが兼松講堂に舞い降ります。

2016年6月12日(日) 午後2時開演 (開場1時30分)
一橋大学兼松講堂 (JR国立駅南口徒歩7分)

共演：川久保賜紀 (ヴァイオリン) 川本嘉子 (ヴィオラ) 趙 静 (チェロ)
ナビゲーター：西原 稔 (桐朋学園大学音楽学部教授)
ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第1番 ヘ短調 OP.2-1
ピアノ・ソナタ第17番 二短調 OP.31-2「テンペスト」
ピアノ四重奏曲より2曲 ほか



小菅優



趙 静



川久保賜紀



川本嘉子

● 前売券 (当日は各500円増し) 消費税込
S席 4,000円 (指定・親子セット限定20席あり)
保護者同伴の小中高生は学生券で指定席可
A席 3,000円 (自由席) 学生券 1,500円 (自由席)
★親子セット券のお申込みは、あらかじめ直接主催者までご連絡ください。☎ 090-8495-4582
★未就学児童のご入場、お車でのご来場はご遠慮下さい。

● チケット販売 一橋大学西生協 / 白十字南口店 / 「レストランテ文流」 / 国立店 / くになち市民芸術小ホール / 東京文化会館チケットサービス (電話申し込み可) ☎ 03-5685-0650

● 問合せ・電話予約 NPOおんがくの共同作業場 ☎ 042-522-3943 (平日10:00-16:00)
● 主催 ボランティア・チーム如水コンサート企画

※詳細は公式ホームページ「如水コンサート企画」で検索 (お申込みもできます)



国立の畑においしさ満開、

旬の菜の花、再発見です。



「小松菜の花」を食べたことがありますか？春の直売所で見かけるお野菜です。この時期、小松菜をはじめ白菜や大根などアブラナ科の野菜にはおいしい花が咲くのです。そんな菜の花のレシピをヨシさんに聞いてみました。ポイントはドレッシング。食欲をそそる香りとうまみが、菜の花の食感と苦味にピッタリでついつい箸が進みます。



材料 (2人分)

菜の花 … ふたつかみ	<ドレッシング>
豆腐 …………… 100g	オリーブ油 …………… 大さじ3
紫タマネギ … 1/4 玉	醤油・酢 …………… 各大さじ1
アボカド …………… 1玉	バルサミコ酢 …… 小さじ2
ミニトマト …… 4個	粒マスタード …… 小さじ1
	ニンニクおろし …… 小さじ1/2
	砂糖 …………… 小さじ1/2
	塩 …………… 適量

作り方

菜の花を茹で、水気をしぼる。紫タマネギはスライス、アボカドとミニトマトは一口大にカット。それぞれボウルに入れ、ドレッシング適量で和える。器に盛り付け、手でくずした豆腐をのせる。ドレッシングを回しかけて出来上がり。



YOSHI フードクリエイター。2016年よりサロントピナンブルを拠点に。食と暮らしにまつわる創作表現、ワークショップを主催する。www.yoshiveggie.com

text : Yamane Kazuki illust : YOSHI



くらしの安全安心 知りたい防災

電気火災にご用心!

立川消防署管内では昨年、電気起因する火災が最も多く発生しました。

- プラグが半差し状態で、差し刃の一部に電気が集中して流れた
- プラグのすき間に溜まったほこりと湿気により、電気が通り発火する(トラッキング現象)
- コードを束ねて使用していたため、発熱した
- コードの上に家具など重い物が乗ったままの状態が続き、コード内の芯線が切れた

などが主な原因です。プラグは奥まで差しありますか？コードに負荷がかかるような使い方をしていませんか？コンセントやタップはちゃんと掃除していますか？ちょっとした注意で電気火災は防げます。



トラッキング現象

情報提供：立川消防署予防課防火管理係/電話 042-526-0119



暮らしに役立つ「IoT」って？

あらゆるモノとインターネットがつながる。それがInternet of Things、略してIoT。例えばウェアラブル端末(前号参照)や冷蔵庫など身近なモノから、心臓ペースメーカー、飛行機のエンジン部品まで、モノをインターネットで相互につなぐことで、暮らしや仕事を便利にする技術の総称。IoTによって周囲の状況やモノの状態をモノ自身が判断し、予測して、高齢者の見守りや故障前の部品交換など、より快適なサービスの提供が始まっています。

text : 国立せいさく所 <https://seisakusyo.jp/>

NHK 学園

くになちオープンスクール



せきやビル 6F / ☎ 042-574-0570
 [受付時間] 月 - 金 9:30-19:00
 土日 9:30-15:00 (祝日休)

短期
集

村松真貴子の朗読入門

4/11 ~ 第2・4月 10:00 ~ 12:00
 3ヶ月全6回 17,100円



「声で文字に命を吹き込み、作品の魅力をより深く伝える。それが朗読の醍醐味です」とは元NHKキャスター・エッセイストの村松先生。本講座では詩や絵本などを題材に、発声方法などの基礎から学べます。文学が好きな方はもちろん、読み聞かせが上手になりたい育児中の方、人前で話す機会が多い方にもおすすめです。

ネイティブの気さくな指導で
 西欧の文化に触れる。

フランス語入門

4/1 ~ 第1・3金 13:00 ~ 14:30

6ヶ月全11回
 28,050円 (分割2回払可)
 講師: ヴァンソン・シャードンロー



初めてのイタリア語 (入門)

4/8 ~ 第2・4金 10:30 ~ 12:00

6ヶ月全12回
 30,600円 (分割2回払可)
 講師: マリオ・ウオット



言葉と音楽は大切な
 コミュニケーションツール。
 楽しく学んで、新しい仲間
 の輪を広げましょう!

せきやビルで始める コトバとオンガク



宮地楽器 音楽教室国立センター

せきやビル 7F / ☎ 042-505-5656
 [受付時間] 月 - 土 10:00-21:00
 日 10:00-16:00 (祝日休)

素敵な
 アンサンブルは
 親しみある
 笛の音で。

リコーダー

木 11:00 ~ 12:00 /
 月 2回 7,020円 ~

子どもの頃に吹いたりリコーダー。もう一度手にしてみませんか? 「ルネッサンス、バロックから今に至るまで、世界中で親しまれている楽器です。グループで行う本講座ではアンサンブルも楽しめますよ。そう語るのには演奏活動も精力的に行っている倉林靖先生。多彩な楽曲に取り組みながら、その音色を存分に楽しみましょう。



みんな一緒に
 ABC! リズムで
 英語を身近な
 ものに。

ヤマハ英語教室

日程・料金は教室まで
 お問い合わせください。

近年では社用語に採用する企業も増え、ますますニーズが高まる英語。幼少期から親しんでおくことが上達への近道です。本教室では0歳からのコースもご用意。音楽やリズムと合わせる独自の学習方法で、話す・聞くのコミュニケーションが自然と身につけていきます。



グラスを片手に
 チーズめぐり vol.9
 ワインと旅するチーズ王国

TOKYO・PARIS
 SEKIYA
 Depuis 1910



とろける春の青いシエースル

イタリアのゴルゴンゾーラ職人が山羊乳を使って仕上げた旬の逸品。見た目はブルーチーズそのものながら、とろける食感と穏やかな風味に春の訪れを感じます。料理はもちろんデザートにもおすすめ。

ヴェルダールペ ドルチェ
 100g/1,200円 (税込)

SEKIYA's Choice

このチーズのお供は...

モスカートダスティ
 ソリルキン
 白・微発泡
 750ml/3,020円 (税込)

ゴルゴンゾーラと同郷のピエモンテ州で造られる微発泡ワイン。上品な甘さと酸でチーズの魅力を引き立てます。



チーズお問合せ先 チーズ専門店&カフェ
 サロン・ド・テ・チーズ王国

※入荷数に限りがあるため、事前予約をお薦めします

立川市柴町4丁目16-1 [OPEN] 10:00~19:00 (火休) ☎042-513-4101

アンケートにお答えいただいた方にプレゼント!



1



2



3



4



5



6

1 旅する雑貨屋 Hunt 「トルコ刺繍花モチーフのオヤ(ヘア)」2名様 2 アルトパッショ 「グラスワイン」10名様※お食事をご注文された方に限りませす 3 ピアカフェ ニンカシ 「国立桜を使った燻製mixナッツ」5名様※レギュラーサイズ以上をご注文された方に限りませす 4 アカリペーカリー 「金券500円分」5名様 5 マルカフェキッチン 「ランチご注文のお客様にランチデザートプレゼント」5名様 6 SAKE-BOUTIQUE SEKIYA 「フォッソ・コロノ チーマ・ローザ」1名様

応募締め切り:2016年4月15日(金)当日消印有効

※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。※プレゼント有効期限:2016年5月末日

プレゼントの応募方法

ハガキで

①ご希望のプレゼント名1つ②住所・氏名・電話番号・職業・年代③面白かった記事、本誌へのご意見・ご感想をお書きになって、下記までお送りください。[宛先]〒190-0011 東京都立川市高松町3-14-13 (株)ピックス気付国立歩記編集部「プレゼント」係

WEBで



kunitachiaruki.jp

パソコン・スマートフォンは上URLから、携帯電話はQRコードからどうぞ(一部の携帯は未対応)。QRコードはデンソーウェブの登録商標です。

表紙の裏話

「キャットフィッシュにて」



表紙の写真は、国立の東にある「カフェCatfish(ギャラリーエソラ)」。『洋酒天国』の編集者・コピーライターとして活躍した故山口瞳氏ゆかりの店として、知る人ぞ知る銘店である。「俳句カフェ」でもあり、俳句好きが集まり「ほんやらなまぜ句会」が開かれていたが、昨年、店主が他界。現在、再オープンに向けて準備中とのこと。

緑と文化のくにたち。
人と暮しのために。



illustration by まつたけ



国立市中1-9-30 国立駅より徒歩1分
www.sekiya.jp

おかげさまで13周年!

国立せきやビル

- 7F 多目的ホール せきやホール 042-576-7728
- 7F 宮地楽器音楽教室 国立センター 042-505-5656
- 6F オープンスクール NHK 学園 042-574-0570
- 5F SD フィットネス国立店 042-580-4538
- 4F エステサロンさくら国立店 042-572-3000
- 4F ジャック幼児教育研究所 国立教室 042-573-6880
- 4F 宮崎県日南市 塚田農場 国立店 042-580-4502
- 4F 隠れ菴 忍家 国立店 042-574-5288
- 1~3F SEIYU 国立店 042-576-2401
- B1・1F SAKE-BOUTIQUE SEKIYA 042-571-0001
- B1F 30農家のくにたち野菜タバスくにたち村酒場 042-505-6736
- 第二せきやビル タリーズコーヒー 国立店 042-501-0336

※営業時間・定休日等は各店にお問い合わせください